

10/5

2007年 第956号

(毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 大阪府歯科保険医協会
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 大阪府歯科保険医協会
 大阪府浪速区幸町1-2-33

「保険でよい歯科医療を求める意見書」

高槻・羽曳野・田尻でも採択

大阪府下の自治体で「保険でよい歯科医療の実現を求める」意見書の採択が広がっている。8月の吹田市に続き、高槻市・羽曳野市・田尻町で、9月26日の本議会で採択された。同意見書は、9月議会で向け協会の請願・陳情したもので、「歯科医療の現状は聞いている」「保険でよい歯科医療の実現はいいことだ」など、府下各地で様々な会派から賛同の声が上がっている。

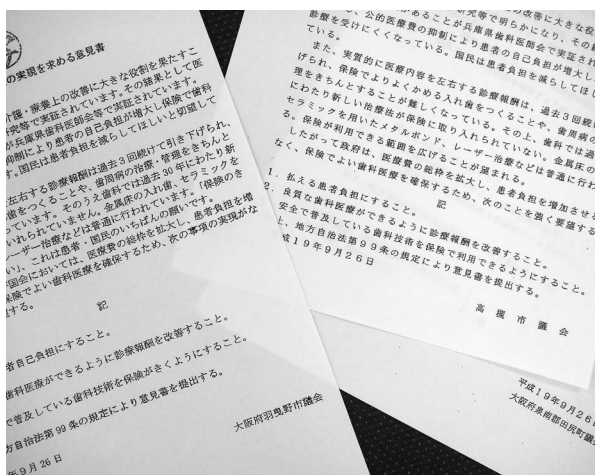
採択された意見書の国への要望項目は、①払える患者自己負担にすること②良質な歯科医療ができるように診療報酬を改善すること③安全で普及している歯科技術を保険がきくようにすることの3点で、協会が陳情した内容がそのまま反映した。

同意見書の採択を求める運動は、保険でよい入れ歯運動の経験から全国の自治体の過半数で採択を目指しており、現在取り組んでいる歯科医療の改善を求める院長・患者署名と合わせて、医療費総枠を拡大して歯科医療危機打開、診療報酬の引き上げと患者負担軽減の力とするもの。

9月議会で意見書採択まではいたらなかったところも、陳情した協会に議会で参考人として意見開陳を求めるなど、陳情が真摯に受けとめられている。

この以上の引き下げはできない」などの与党議員の声や、福田新首相が高齢者の窓口負担軽減を打ち出すなど、これまでの協会・保団連などの運動が医療改善の展望を切り開いてきた。

自治体意見書採択運動に加え、院長署名・患者署名など、国民・患者・開業医・自治体の各方面



各自治体で採択された意見書

厚労省「診療報酬マイナスは限界」

自然増削減に保険者間財調の意向

健保連、財界は即座に反発

厚労省は9月20日開かれた社会保障審議会・医療保険部会に、社会保障費の自然増分2200億円の削減対策として、政管健保への国庫負担を半減して、その分を健保組合や共済組合に負担させることで賄う考えを示した。

8月28日に厚労省がまとめた概算要求では、薬価の1%程度の引き下げと後発医薬品（ジェネリック）の使用促進で削減額の半分程度を捻出し、残りを政管健保への国庫補助を削減し、健保組合等に肩代わりさせる案を示していた。

厚労省は、診療報酬は3回連続マイナス改定し

から数多くの署名を積み上げることは国会議員にも影響を与え、政局を動かすため街頭での宣伝と署名を集めはじめ、一人で多くの会員に院長署名と患者署名の協力をしている。

もろうため、地区での学習会開催を呼びかけている。

高年齢者の医療費負担増一部凍結へ

国民世論・運動が与党に軌道修正

自民・公明

自民党と公明党は9月25日、高齢者医療の負担増凍結など15項目からなる連立政権の合意を確認した。国民の世論と運動が与党に軌道修正をさせた。

高齢者医療で08年4月から実施することになっている、70〜74歳の医療費窓口負担を現行の1割から2割へ引き上げる、75歳以上の後期高齢者医療制度で扶養家族から保険料を徴収する部分に限定して負担増を一時凍結する考え(図)。

厚労省は2割への引き上げ負担が年間500億円、扶養家族の保険料負担が年間約400億円、合わせて900億円程度とみている。自民・公明

を表明したと報じられてきた下は、診療報酬のマイナス改定を続ける考えのないことを明らかにした。患者負担は原則3割とし、政管健保への国庫負担を減らすことで2200億円捻出するとしていた。

医療保険部会では、国庫負担削減分の負担を求められることになる連合の小嶋栄吉氏、健保連の対馬忠明氏が即座に反対

を表明したと報じられてきた下は、診療報酬のマイナス改定を続ける考えのないことを明らかにした。患者負担は原則3割とし、政管健保への国庫負担を減らすことで2200億円捻出するとしていた。

厚労省の思惑通りに進めば、来年4月の診療報酬改定はプラスマイナスゼロ、薬価・材料価格で

で個別項目を集中的に議論し、年明けに具体的な点数設定を審議する。改定内容を左右する改定率は年末の予算編成の中で内閣によって決められる。2200億円の捻出方法も含めて最後は政治の場で決着することになる。医療費総枠拡大の世論が大きく、政治を動かす力にまで高まるかどうかが問われている。

後期高齢者医療制度の保険料は医療給付費にリンクしており、8月31日告示された東京都後期高齢者医療広域連合の試算では、国の試算額を大きく超えて、最大で平均年額15万5千円(月額1万2900円)にもなる。過去の老人医療費に基づく

と、大阪でも同様に高い保険料が予想され、高齢者の負担増が危惧される。

後期高齢者医療制度の国の試算を超える保険料

後期高齢者医療制度の保険料は医療給付費にリンクしており、8月31日告示された東京都後期高齢者医療広域連合の試算では、国の試算額を大きく超えて、最大で平均年額15万5千円(月額1万2900円)にもなる。過去の老人医療費に基づく

「うちの婆さん、歯の具合が悪いらしいので、すが、寝たきりでここまで移動できないのです」

「往診しますよ」

「歯科でも往診があるのですか」

「歯科の往診は結構有効なことが多いですよ。」

この「往診」という言葉は「在宅訪問診療」に置き換えたなら二者の会話が弾まず舌を噛みそうになる。また、ドラマとしても、リアリティーのない非日常的な嘘臭い場面になってしまふ。

正確に定義付けされた学術専門語と違って、日常会話語は時代に洗われ地域で熟成されたもので、生き物だから進化も老化・劣化もする。解剖学者は言葉をやみやたらと変えたがるのだから。私のクラスと一年先輩とが習ったラテン語の解剖学名は、どの語も語尾変化が違う別のバージョンだった。

横領と着服と猫パバはどう違うのか私には分からないが、年金問題で血走った目付きの舐厚労相は「それ泥棒じゃないの」と言っている。

10月中旬と、11月下旬に国会に提出予定です

各署名の取り組みへの協力をお願いします

患者署名 「保険でよい歯科医療の実現を求める請願署名」

会員署名 「診療報酬引き上げや患者負担軽減を求める要請書」

10月中旬と、11月下旬に国会に提出予定です

第30回 協同組合まつり

・10/13 (土) 10:00~19:00
 ・10/14 (日) 10:00~17:00

【会場】マイドーム大阪(中央線・堺筋線「堺筋本町」駅の1・12番出口から徒歩7分、谷町線「谷町四丁目」駅の4番出口から徒歩7分)

歯科材料特売コーナー・デューク更家氏による「元気に歩いて健康に!」・空くじなしの大抽選会・まぐろの解体ショーなどの様々な企画をご用意しています。

歯界

「うちの婆さん、歯の具合が悪いらしいので、すが、寝たきりでここまで移動できないのです」

「往診しますよ」

「歯科でも往診があるのですか」

「歯科の往診は結構有効なことが多いですよ。」

この「往診」という言葉は「在宅訪問診療」に置き換えたなら二者の会話が弾まず舌を噛みそうになる。また、ドラマとしても、リアリティーのない非日常的な嘘臭い場面になってしまふ。

正確に定義付けされた学術専門語と違って、日常会話語は時代に洗われ地域で熟成されたもので、生き物だから進化も老化・劣化もする。解剖学者は言葉をやみやたらと変えたがるのだから。私のクラスと一年先輩とが習ったラテン語の解剖学名は、どの語も語尾変化が違う別のバージョンだった。

横領と着服と猫パバはどう違うのか私には分からないが、年金問題で血走った目付きの舐厚労相は「それ泥棒じゃないの」と言っている。